

競技・審判上の注意

1. 本大会は、平成28年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定並びに公認審判員規定に基づいて行います。
本大会の受付時間は→25日(土)午前8時00分 →26日(日)午前9時00分です。
2. 本大会のスコアは、次の通りです。
 - ①4組のリーグ戦→1ゲーム、2ゲーム共に、21点の打ち切りとし延長ゲーム無し。
・ファイナルゲームは、15点の打ち切り延長ゲーム無し。
 - ②3組のリーグ戦→1ゲーム、2ゲーム共に、21点の延長ゲーム有り。
・ファイナルゲームは、21点の打ち切りとし延長ゲーム無し。
 - ③決勝トーナメント戦→21点の延長ゲーム有り。 ・ファイナルゲームも21点の延長ゲーム有り。
3. 本大会は、「敗者審判制」とします。 敗者は=当該コートの主審、勝者は=線審(2名)を担当してください。
→試合終了後、主審は、敗者を同行の上本部席にスコアシートを提出してください。
→勝者は、そのコートで待機してください。
4. 試合進行は、1日目は男女毎に割り当てたコート内での「流し込み形式」を原則とします。
2日目は、「1または2コート内でのコート固定」を原則とします。
1日目・2日目共に試合の順序やコートを変更して行うことがありますので、本部のコール・指示に注意してください。
5. 試合のコール(試合の開始放送案内)後、5分を経過しても当該選手がコートに入らない場合は棄権とみなします。
6. 試合が連続して行われる場合、原則として5分の間隔をあけます。
7. 試合前の練習は、1日目の初回戦のみ2分間とします。 *主審の指示に従ってください。
練習相手は、複・混合複共にパートナー同士とします。
8. 試合中の水分補給やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。 容器についてはキャップのついたペットボトル類とし、床面にこぼさないように注意してください。飲料容器は、コート脇のカゴに入れてください。
9. 競技中、色付きの着衣を使用する場合は(公財)日本バドミントン協会審査合格品としてください。
10. 競技中の事故(負傷・病気)は、主審の判断によりレフェリーを呼び、レフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。 尚、主管側にて応急処置のみ行いますが、そのごの処置については各自の責任とします。
11. 棄権者が出た場合、所属クラブの責任者又は代理の方は、速やかに本部に申し出てください。
12. 携帯電話は、試合中はOFFにしてください。また、モバイル機器等を使用する試合中の助言は禁止します。

その他の注意事項

1. 競技場(アリーナフロア)での飲食は禁止です。 観覧席等所定の場所をお願いします。
2. 所持品(貴重品)の管理は各自をお願いします。 会場は自由に入出りできますので、盗難には十分注意してください。 大会本部及び会場施設では責任を負いません。
3. 体育館シューズと外履きの区別を必ずしてください。(喫煙場所は、外履きに履き替えが必要です。)
4. 喫煙は、体育館内所定の場所にてお願いします。
5. ゴミ(空き弁当箱、飲み物缶・ペットボトル等)は、すべて各自で持ち帰り処分してください。
6. 表彰については、優勝、準優勝、三位まで行います。
表彰式は、すべて本部指定場所にて行い、併せて広報用の写真撮影を行います。撮影終了までご協力ください。